

## 事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体の場合は代表者名も記入)
特定非営利活動法人レインボー・アクション (代表者名: 藤田裕喜 )
2. 研究または活動のテーマ(課題名)
連続講座「週末トークライブ」の開催
3. 助成額
150,000 円
4. 実施期間
2017 年 7 月 ~ 2018 年 4 月
5. 実施状況
<第 1 回目助成事業> 2017 年 7 月 9 日 講師打ち合わせ:チラシの確認、企画内容の概要について検討 2017 年 7 月 18 日 法人ウェブサイトにて、広報・告知開始 2017 年 8 月 1 日 講師打ち合わせ:企画内容について検討(以後はメールにて打ち合わせ) 2017 年 9 月 16 日 第 5 回 週末トークライブ「歩く／歩かない 90 年代の『レズビアン・ゲイ・パレード』を振り返る」(講師 土屋ゆきさん、マーガレット(小倉東)さん)実施  <第 2 回目助成事業> 2017 年 10 月 15 日 講師打ち合わせ:企画内容について検討(以後はメールにて打ち合わせ) 2017 年 11 月 5 日 法人ウェブサイトにて、広報・告知開始 2017 年 11 月 19 日 講師打ち合わせ:企画内容について最終確認 2017 年 11 月 25 日 第 6 回 週末トークライブ「セクシュアル・マイノリティとイメージ戦略-なにをどう伝えれば、より生きやすく、より自由になれるのか?」(講師 マーガレット(小倉東)さん、サムソン高橋さん)実施  <第 3 回目助成事業> 2018 年 2 月 10 日 講師打ち合わせ:企画内容について検討(以後はメールにて打ち合わせ) 2018 年 4 月 7 日 法人ウェブサイトにて、広報・告知開始 2018 年 4 月 28 日 第 7 回 週末トークライブ「障害者・高齢者の『性』と向き合う」(講師 浜野佐知さん、武子愛さん)実施 *この他、随時インターネットを通じて、メンバー間で打ち合わせ・検討を行った

## 6. 事業成果と自己評価

### 【事業成果及び自己評価】

本事業は、日本社会における性的少数者に対する理解を深化させるために、性的少数者と人権を取りまく課題について、専門的に学ぶ機会を提供することを目的に実施した。

様々な現下の状況・事情を踏まえ、団体内で検討した結果、合計で3回の「トークライブ」を実施することとした。あまり注目されることがなく、積極的に取り上げないと話題にされることすらないテーマ、という視点を通底する問題意識として踏まえ、これまでに性的少数者と人権に関わる課題について、関心を寄せてきた人を対象者として設定した。具体的には、第1回目で「パレードの歴史」について、第2回目では「メディアやイメージ」について、第3回目では「障害者、高齢者の性」を取り上げた。

計3回の事業実施を通じて、延べ200名近くの参加者を集めることができた。いずれの回も、参加者アンケートの回収率は9割程度で、そのうち8割以上が「大変満足」「満足」と回答し、「もっと話を聞いてみたいと思った」「とてもたくさんヒントをいただきました」「またこういったイベントを開いていただきたい」「会場の質問者からも学べる、全体的に問題意識の非常に高いイベントで面白かった」「具体的なエピソードから発展されてきた学問や、活動に対するエネルギーは大変刺激になりました」など、前向きな意見が多かった。また、事業終了後は講師と参加者を交えて交流会を実施することで、参加者同士のネットワーク形成にも資する場づくりにもつなげることができた。

今回の一連の事業を通じて、団体としても新たな関心層にアプローチするきっかけを得ることができたと言え、今後の活動の展開に向けて、大きなはずみをつけることができたと考えている。